

2009

8

No. 47

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこじま



方言で笑おう！

～ 第16回 なりとうゆん
みゃ〜く方言大会 ～

6月20日、宮古方言での表現力を競う「第16回
なりとうゆんみゃ〜く方言大会」(主催:市文化協会)
がマティダ市民劇場で開催されました。この大会
は、宮古方言を話せない若者が増える中、地域特有
の表現の良さについて認識を深めることを目的とし
て開催されているものです。

今回は、50～80代の男女7人が、自身の体験や
思い出などを身ぶり手ぶりを交えたユーモアたっぷ
りに方言で語り、終始会場を爆笑に包んでいました。



今月の主な内容

市長公約推進計画P2

国保税の改正(引き下げ)についてP5

お知らせ(現況届の提出についてほか)P8

■ホームページ <http://www.city.miyakojima.lg.jp/>



個別施策	基本目標または事業概要	担当課名	目標年度
2) 防風林及び公園・緑地用樹木の育成	《21年度事業》メモリアルツリー推進事業、緑をつくる条例推進事業、花いっぱい推進事業	みどり推進課	20年度～24年度
《水産業》			
1) 製氷施設等水産物流通施設の整備と流通システムの構築	伊良部地区佐良浜と平良地区池間において、製氷施設を新たに設置することにより、計画的な漁業活動を支援し、漁業者の生産意欲の高揚と漁業振興に寄与する	水産課	20年度～22年度
2) バヤオの増設	バヤオを設置し、漁場造成に努めるとともに、漁船漁業を推進（離島漁業再生支援交付金事業）		20年度～23年度
3) 貝類・藻類養殖事業の推進	貝類、藻類等、養殖の生産拡大と新たな養殖産業の創出と産地化を図る（離島漁業再生支援交付金事業）		20年度～22年度
4) 水産業の振興・種苗供給施設の整備	種苗生産体制の拡大を図り、つくり育てる漁業を推進（沖縄県水産業構造改善事業）		21年度
4 観光及びスポーツの振興			
1) 市民と観光客が一緒になって楽しめる新たなイベントの企画	平成21年度文化資源活用型観光戦略モデル構築事業（県観光振興課）を活用	観光商工課	21年度～22年度
2) 海・浜を利用したレジャー及びイベントの充実	「平成21年度宮古島市観光振興基本計画」を策定する中で、観光に関するニーズ調査を実施し、本市の観光産業で特に重要な位置を占める海・浜を利用したレジャーやイベントを企画する		21年度～
3) 児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化	宮古体育協会に補助金の増額を行い、組織の育成と市民の健康増進を図るための環境づくり、連携を強化する	市民スポーツ課	21年度～
4) 環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実	自然環境（エコ）の保全等を核とした本市の新たな魅力を創出し、観光振興や雇用創出につなげるため、新たな財源確保に向け、方策を検討	企画調整課	21年度～
5 医療・福祉の充実			
1) 県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設	宮古圏域の安定した医療の確保に向け、県と協力し県立宮古病院の早期建設に積極的に取り組む 県立宮古病院内に市休日夜間救急診療所を併設することにより、市民の利便性向上及び県立病院が本来担う2次救急への負担軽減、業務の集中化など、円滑な医療体制を確保する	企画調整課 健康増進課	21年度～ 21年度～
2) 託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化	宮古島市公立保育所建設事業 砂川保育所改修事業	児童家庭課	21年度
3) 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の充実強化の促進・支援強化	集団健診、個別健診等について啓発に努める	国民健康保険課	21年度～
6 教育の充実			
1) 小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討	小規模学校の在り方を検討する委員会を組織し、その中で池間小・池間中の併置を検討	教育総務課 教育施設課 学校教育課	22年度
2) 豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施	児童生徒の「生きる力」を育成するため、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため、学校図書の実績、学力向上対策、教育相談、特別支援教育の充実を目指す	学校教育課	21年度～24年度
7 宮古島活性化のためのプロジェクト推進			
1) 天然ガスを活用したコンビナートの建設	昭和35年～45年にかけての「沖縄天然ガス資源調査」により賦存することが判明し、旧城辺町の調査報告書の中で掘削費用等も試算されている水溶性天然ガスを活用する 掘削費用については、予算確保が困難なことから国・県及びNEDO等関係機関と調整を図り、補助事業、関連事業の助成メニューを開拓する また島内外の有識者による「資源活用検討委員会」を設置し、民間業者とも調整を図りながら、天然ガスコージェネレーションシステムを活用した施設の誘致又は建設を実現する	地域資源活用推進班	21年度～23年度

個別施策	基本目標または事業概要	担当課名	目標年度
1 市行財政組織の改革			
1) 分庁方式の見直しを含めた組織機構の効率的運用と改革の早期実施	職員が減少する中で住民サービスを維持できる組織機構の構築を図り、効率的な行政運営に努める	行財政改革班	21年度～
2) 指揮命令系統の徹底と責任所在の明確化	①管理監督者研修の実施 ②事務改善行動計画の徹底 ③人材育成計画基本方針の策定 ④人材育成計画実施計画の策定	総務課	21年度～
3) 信賞必罰の徹底	①法令・条例等に基づく事務の遂行に向け職員の研修強化 ②懲戒・分限に係る指針見直し ③人事評価システムの導入 信賞必罰を徹底し、公務員としての自覚を促すとともにやる気のある職員を応援する仕組みをつくる		行財政改革班
4) 各種プロジェクトの創出・導入に向けた企画部門の強化	公約に掲げた宮古島活性化のための各種プロジェクトを強力に推進していくため、企画政策部にプロジェクト班を設置する	行財政改革班	21年度～
2 市財政の立て直し			
1) 市職員数の類似市並みにするための計画的縮減の実施	平成21年度で集中改革プランが終了することから、第2次プラン策定時に、適正規模の市政運営に向け、定員の適正化と組織・業務のスリム化に取り組む 勤奨退職の促進による職員数の計画的削減	行財政改革班 総務課	21年度～ 22年度～
2) 現在実施している全ての事業の総点検と見直しの推進	市総合計画に沿った予算編成及び市長公約実現に向けた計画的・効率的な行政運営を図るため、毎年ローリング方式により実施計画書（3カ年計画）を策定 総合計画の実施計画を策定する企画政策部と連携し、全ての事業について総点検を実施	企画調整課 行財政改革班	21年度～ 21年度～
3 農林水産業の振興			
《農業》			
①土地改良事業の推進（市実施事業）	《農地整備事業（21年度）》ほ場整備（11地区）、畑地かんがい整備事業（10地区） 《団体営（22年度新規）》ほ場整備（4地区）	農地整備課	21年度～24年度
1) ②農村生活環境整備、農地等保全管理事業の推進（市実施事業）	《農業農村整備事業（管理計画）》21年度…村づくり交付金（3地区）、農用地保全整備事業（県営2地区、団体営2地区） 22年度以降…村づくり交付金（4件）、農用地保全整備事業（県営2地区、団体営10地区）	むらづくり課	21年度～24年度
2) WTOに対応したサトウキビ生産方式の検討と関税引き下げ対策への取組みの強化	本市農業の最重要課題として持続的発展と将来の展望が図れるよう、県と連携して国に強く働きかける	農政課	21年度～
3) ムツウサ等、新規商品への支援強化	健康食品として注目されているムツウサ等を本市農業の新たな戦略品目として積極的に支援強化を図る		21年度～23年度
4) 肉用牛等畜産への支援強化	肉用牛（子牛）生産出荷体制と、生産基盤の確立を図る	畜産課	21年度～
《林業》			
1) 緑の創出の推進	《21年度事業》流域育成林整備事業、特定森林造成事業、里山エリア再生交付金事業	みどり推進課	20年度～24年度

宮古島市長公約推進計画

この計画は、下地市長が今年一月の市長選挙時に掲げた公約と、就任後、施政方針や市議会及びマスコミ等に対し表明した重点施策等を「市長公約」として取りまとめたものです。その公約の内容と計画を紹介いたします。

今後、宮古島市は「環境に優しく、健康で活力あるまちづくり」をテーマに、この計画の実現に向け鋭意取り組んでいきます。

推進計画内には、複数年かけて行う事業が多数あります。このような長期の事業を計画通りに推進していくためには、市民の皆様のご協力が不可欠となります。

これから本市政に対し、一層の

個別施策	基本目標または事業概要	担当課名	目標年度
11) 新図書館移転新築の調査・検討	平成21年度答申済「基本計画及び選定用地」を再検討 《今後の取組予定》 用地選定再諮問、基本設計(22年度)、実施設計・着工(23年度)、建設工事(24～25年度)	中央図書館建設準備室	21年度～25年度
12) 水道事業の整備促進	宮古島市水道事業変更認可(第一次拡張事業)	水道局総務課	21年度～28年度
13) 道路・港湾・下水道施設の整備促進	住民、来島者が安心・安全に利用できる道路設備の計画及び実施(特定交通安全施設整備事業、地方道路整備臨時交付金事業、道路改築事業)	道路建設課	21年度～24年度
	平成20年度「平良港港湾計画(改訂)」において、漲水地区再編事業計画が決定済 総事業費138億3千万円 7万トン級旅客船バース(340m)、うち耐震強化岸壁(220m)、緊急物資集積兼用緑地(2.5ヘクタール)等 主要な都市機能の一つで、汚水、生活雑排水の適切な処理に不可欠な公共下水道を、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全のため設置・整備していく	港湾課	22年度～29年度
14) 消防機能の充実	救急・救助体制の充実を図るため、職員の技術力の向上や資機材・消火栓等の整備を実施する	消防本部総務課	21年度～25年度
15) 市総合庁舎建設	総合庁舎方式への移行は、今後、市行政組織改革の中で検討されることになっており、その結果を踏まえた上で市総合庁舎建設に向け取り組む	企画調整課	22年度～

ご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

なお、主な取組内容については、本ホームページで紹介しています。
<http://www.city.niikawajima.lg.jp>

詳しくは 各担当課
または 企画調整課

☎ 72・3751(代)

国民健康保険の税率を改正(引き下げ)しました

市は、国保加入者の税負担を緩和するため、平成21年度の国保税を下記の通り改正しました。主な変更点は、「所得割の税率を医療分・介護分・支援分で引き下げ」と「国の制度改正に伴い、介護分の限度額を『10万円』に引き上げ」になります。

平成20年度税率(改正前)

税率等	医療分	介護分	支援分
所得割税率	10.9%	3.5%	3.6%
資産割税率	31.3%	8.1%	9.0%
均等割額	19,500円	8,900円	7,100円
平等割額	17,000円	5,400円	6,800円
限度額	470,000円	90,000円	120,000円
基礎控除額	330,000円		

平成21年度税率(改正前)

税率等	医療分	介護分	支援分
所得割税率	8.9%	2.5%	2.6%
資産割税率	32.0%	8.0%	9.0%
均等割額	18,000円	6,500円	5,500円
平等割額	16,000円	3,800円	5,000円
限度額	470,000円	100,000円	120,000円
基礎控除額	330,000円		

●正しい所得申告を!

保険税の所得割額は、前年の所得をもとに決められます。所得申告がないと、正しい保険税の計算ができないだけでなく、所得の低い世帯対象の軽減制度が受けられなくなる場合があります。前年度の所得がなくても、必ず申告して下さい!

●ご存知ですか?国保税の減免制度

前年所得が600万円未満で、災害による多大な被害および失業等で前年より著しく所得が低下した場合、または債務返還等で居住用財産を譲渡した場合は、申請により国保税の減免が受けられます。また、医療制度改革に伴い、新たに国保被保険者となった65歳以上の方に対する減免制度もあります。この制度を受けるためには申請が必要です。詳しくは窓口までご相談下さい。

詳しくは 国民健康保険課 ☎ 73-1973

個別施策	基本目標または事業概要	担当課名	目標年度
2) 温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致	上記天然ガスの取組手法と同様に、天然ガスに付随する温泉水を活用したクアハウス等の施設を誘致し、併せて天然ガスコージェネレーションシステムを活用する	地域資源活用推進班	21年度～23年度
3) 伊良部大橋建設の促進	平成21年度の道路特定財源制度の一般財源化に伴い、伊良部大橋建設工事にかかる安定的な予算確保に向け、国・県に対し陳情、要請を展開	企画調整課 道路建設課	21年度～24年度
4) 中小企業への支援促進	宮古島市小口資金融資制度により、事業を営む小規模企業者の資金需要に対処する	観光商工課	21年度
5) 特色あるホテル建設の促進	現在、計画のあるリゾートホテル建設について、早期着工を求めるとともに本市のニーズにあったホテル建設について協議していく	企画調整課	23年度～
6) 土地改良事業の促進(国・県との事業)	《農地整備事業(21年度)》 国営宮古・伊良部地区かんがい排水事業 《県営事業(22年度新規)》 ぼ場整備(4地区)	農地整備課	21年度～24年度
7) 島全体を対象とした電線地中化の促進	沖縄ブロック電線類地中化協議会において、「第6次5カ年計画」で事業採択に向け取り組む	都市計画課	21年度～25年度
8) 下地島空港及び残地活用計画の策定	空港及び残地活用について(本市提案方針) ①国際的な航空関連教育の拠点づくり 空港、リゾート、ホテル等、航空産業に係る国内外教育拠点設置、国産小型ジェット機等新たな需要への対応 ②災害時における国際緊急支援活動の拠点づくり JICA「国際緊急救援隊」の拠点空港としての機能整備	地域活性化推進班	20年度～
9) 地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援	各自治会に補助金を交付する(15団体)	文化振興課	21年度～
10) 拝所等の整備促進	国指定史跡「大和井」の石垣修復や県指定史跡「上比屋山」の拝所道整備のほか、指定御嶽等の整備を促進する		21年度～

8 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策

1) エコアイランド宮古島の推進	「エコアイランド宮古島構想」を推進する E3、風力、太陽光、バガス発電、バイオディーゼルの製造、エコツアーの提供、地下水の保全等について取り組む ※5年以内に具体化する主な取組: サトウキビ増産アクションプランの実施、新エネルギーの大規模導入、東南アジア型エコハウスの普及促進、エコツアーの実施	エコアイランド推進課及び全部署	20年度～
2) 国民健康保険税率の見直し	平成21年度国民健康保険税条例の一部を改正し、現行税率を引き下げる	国民健康保険課	21年度
3) 県営公園早期整備への要請活動	県に対し、県営公園整備事業の実施を強く働きかける	都市計画課	21年度～24年度
4) 市陸上競技場の改修	地域のスポーツ振興のため、陸上競技場の改修工事を行い、日常やイベント等で安心して使用できる施設にする	市民スポーツ課	21年度
5) 高齢者が生き生きと暮らせるための支援強化	老人クラブ活動の支援を強化し、生き生きとした高齢者社会の実現に努める	介護長寿課	21年度～
6) 安全・安心な教育環境の充実	放課後子ども教室事業: 子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれるための環境づくりのため、全ての小学校区において放課後や週末に住民の協力のもと、子どもたちの安全・安心な居場所を設け様々な活動を実施する	社会教育課	21年度～
7) 心豊かな生涯学習教育の実現	生涯学習フェスティバル事業: 広く市民に対し、学習活動の成果発表の場や学習情報を提供するとともに、「学び育てる文化まちみゃーく」をテーマに生涯学習の振興を図る		21年度～
8) 新エネルギー資源の活用推進	本市に点在する太陽光発電・風力発電等の新エネルギー施設や、バイオエタノール生産施設、メタンガス生産施設等の再生可能エネルギー施設を紹介・説明するためのPR館及び小規模施設を揃え、訪れる人々に宮古島のエコへの取組への理解を深めてもらうとともに、次世代エネルギーを体感できるシステムを構築する	地域資源活用推進班	21年度～
9) ごみ処理施設の早期建設	①ごみ処理施設の整備(ストロカ方式63t/日) ②リサイクル施設の整備(不燃・資源ごみ処理12t/日) ③リサイクルプラザの整備	環境施設整備室	①、② 20～25年度 ③ 26～27年度 20年度～22年度
10) 葬斎場の早期新設	現在の民営火葬場が、老朽化により継続的経営が困難と予想されるため、行政運営の葬斎場の早期観切に取組む		

うまんかい!がまんかい!

宮古島の話題 [The Topics]

みんなの力をひとつに合わせて

— 第35回九州地区水産系高等学校カッター競技大会 —

7月2日、第35回九州地区水産系高校カッター競技大会(主催:同高校校長協会)が平良港内の埠頭で行われました。

今大会には、九州・沖縄の7県から計8チーム、110人余りの生徒達が参加し、市内からは宮古総合実業高校が出場し、

競技内容は、長さ9mのカッターに漕ぎ手12人、指揮者1人、艇長1人の計14人が乗り込んで、片道500mを往復する速さを競うというもので、3隻ごとに一斉にスタートするため、船の針路や速度調整など、チームワークが勝敗

の鍵を握る競技です。

今大会の優勝者は大分県から出場した大分海洋科学高校で、市内から出場した宮古総合実業は惜しくも敗れましたが、各県から出場した生徒達は、お互いの健闘を称えあい、来年の再会を約束していました。

カッターとは…

カッターボート(cutter boat)のことで、大型船に登載される、オールを漕いで進ませる手漕ぎボートのひとつ。全長約5~10m程度で、「端艇」とも呼ばれる。



熱戦!バレーボール — 上野職域バレーボール大会 —

6月28日、平成21年度上野地区職域バレーボール大会が上野体育館で開催されました。今大会には、全部で10チーム、約160人が参加して熱戦を展開。応援に駆けつけた多くの市民たちと一緒に、会場を終始熱気で包んでいました。

熱戦の末、3チームで行われた決勝リーグで消防上野出張所チームが優勝し、大会は大盛況のうちに幕を閉じました。



優勝した消防上野出張所チーム

いらっしゃい!宮古島の新婚さん

— 「新婚さんいらっしゃい!」公開録画 in 宮古島 —

7月2日、朝日放送の人気番組「新婚さんいらっしゃい!」の公開録画が、マティダ市民劇場で行われました。

これは、宮古島での地上デジタル放送開始の記念番組として特別に宮古島での収録を行ったものです。

豪華に飾られたステージ上に、司会の桂三枝さんと山瀬まみさんが現れると、会場からは大歓迎の大きな拍手。地元の新婚さんとの軽妙でユーモアにあふれたトークで、訪れた多くの市民の笑い声が終始会場は笑いに包まれていました。

今回収録された番組は、宮古島の地上デジタル放送が開始される10月上旬に、デジタル番組として放送される予定です。



↑司会の桂三枝さん(左)と山瀬まみさん(右)

宮古島市における地域福祉計画策定に向けて

— 住民会議活動報告 —

宮古島市地域福祉計画の策定に向けた住民会議活動報告が7月13日午後、市中央公民館で行われました。今年2月から“住民一人ひとりが暮らしやすくなるために”について様々な角度から議論を重ねてきた平良地区「茶願寿」「きずな」、城辺地区「城辺ママヤ」、下地・上野地区「さきだ川」の4グループがそれぞれの活動報告を行いました。

論議された内容は、具体的かつ実践的なものとなっており、報告の総評を行った沖縄大学福祉文化学科の上地武昭教授も舌を巻くほどの提言内容だと高く評価していました。

福祉計画を策定する宮古島市生活福祉課は、今年度の策定に向けて策定委員会、幹事会等を立ち上げ、各住民会議の提言を盛り込みながら地域に合った福祉計画策定を目指していきたい考えです。



タオルと言って拭い、椅子と言って座るババの腹、喜ぶ三歳の息子。

(PN. どんぐりママ 44歳)

「選べ!」足骨折の母が退院の日。父は7種類の履物を買ひ、玄関に並べた。

(PN. 匿名希望)